

特定非営利活動法人
新潟国際ボランティアセンター

2021年度通常総会議案書

日時： 2021 年 5 月 29 日 (土) 13:00～14:30

形式： オンラインシステム (Zoom) による遠隔会議

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター
新潟市中央区営所通 2 番町 692-27 ビラプリンス 103
URL: <http://www.nvcjapan.org/>
E-mail: info@nvcjapan.org

2021 年度 特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター
通常総会

－ 次 第 －

1 開会

2 議長・議事録署名人・書記の選出

3 総会成立の確認

4 議案審議

第1号議案 2020年度事業報告について

第2号議案 2020年度収支決算・監査報告について

第3号議案 2021年度事業計画について

第4号議案 2021年度活動予算について

第5号議案 役員について

5 閉会

14:30～14:45 2020 年度第 2 回運営委員会

14:50～16:00 私が目指す NVC！スローガンを考えよう！
(オンラインディスカッション)

ご挨拶

こんな日々が続くと思いませんでした。

約2年前までは、グローバル化の中、「世界はつながっている」「世界中の人と友達になれるのはもはや常識!」「ビジネスチャンスはインバウンドを狙う必要がある」「格安航空券を利用して簡単に海外に行ける」などという言葉は当たり前すぎて、目新しさも感じなくなっていたと思います。

そして、そのグローバル化の中で、発展や開発に取り残されてしまったベトナムの子どもたちや若者を手助けしたい、という思いで NVC は活動を展開しておりました。

しかし、新型コロナウイルスが世界中に流行拡大し、今や海外への渡航はもちろんのこと、県を跨ぐ移動、近所のスーパーマーケットやコンビニエンスストアへ生活必需品の買い出しに行くことすら思うようにできない状況になってしまいました。

NVC の学生スタッフは自分たちの在籍する大学に行けず、代表の私三上もしばらく事務所への移動を控え、在宅業務に従事する日々が続きました。世界への直接的な移動やつながりを今後どのように継続していけばいいのか、自宅からすら出ることも難しいのにどうするのか、世界と日本・世界と新潟・ベトナムと新潟のつながりはどうなっていくのだ、と考えさせられる日が続きました。

幸い、NVC は新潟の皆さんそして日本全国からご支援応援してくださる皆さんに支えられ、ベトナムともオンラインでつながりを継続することができ、コミュニケーションを何回も行い、昨年度は何とか NVC が予定していた各事業をほとんど実施することができました。本当にありがとうございました。

このように、ベトナム現地に直接赴き、人々と触れ合うことはできない期間が続いておりますが、それでも、やはり世界は複雑に密につながっていると痛感させられています。それが、NVC が支援している縫製教室があるロンアン省キムチシェルターからの SOS です。「コロナ禍で今まで様々なところから受けていたシェルター全体の支援が集まりにくくなっている。NVC が運営している縫製教室は問題ないが、シェルターが実施している子どもたちへの教育プログラムの資金が足りず、教員への給与が払えなくなっている。また、食費も不足しがちで子どもたちに毎日栄養バランスの整った食事が提供できなくなった。」との連絡を受けました。たとえ NVC がみんなで力を合わせていこう、NVC はしっかり活動を展開しよう!と足固めをしても、支援先の施設、それを取り巻く組織や人は世界の人々とながらあって影響し合っているという状況に変わりはない、と思い知らされました。NVC 自身も単独ではできることは限られています。このキムチシェルターの状況は、公益財団法人かめのり財団さんより助成金を受け、約半年でしたが緊急支援という形で改善することができました。

世界中が複雑に係わり影響し合っている、これから何から取り組んでいけばいいのか、と悩む日々もありますが、NVC として未来志向を取り入れて各事業を実施していくことに変わりはありません。その考えに立ち返らせてくれたのが、ベトナムと新潟の若者や子どもたちです。ベトナムの学生は学業成就への熱い思いは消えていません。ベトナムの子どもたちも学びたい、手に職をつけたい、という気持ちに変わりはありません。新潟の学生や若者も自分自身が成長したい、という想いに溢れております。そして何よりも、NVC は、そのようなベトナムと新潟の若者を応援したい!という人たちの集まりです。

困難な日が続きますが、NVC は皆さんと一緒に出来ることを模索し、出来ることを具体化し、実際に行動にし、結果を出していく、ということを忘れずに 2021 年度も頑張っております。

NVC 代表 三上杏里

第1号議案

2020年度事業報告

1 ラオス支援事業



(1) 事業の概要

ラオス農村部の人々が主体となった、環境と調和した地域開発がなされることを通してより公正で持続的なラオス社会が実現することを目標として、対象地域の住民が、土地を含む地域の自然資源を、主体性をもって管理・利用できるようになっていくことを目指す事業。2020年度は、コミュニティー林/魚保護、法律研修/ジェンダー研修などを行った。

※事業実施主体の日本国際ボランティアセンター（JVC）の事業にNVCが一部資金を提供している。

(2) 実施日または期間：通年

(3) 実施場所 サワンナケート県ピン郡およびアサパントン郡

(4) 担当者及びJVCスタッフの数 東京事務所1名、サワンナケート事務所は日本人2名、ラオス人9名

(5) 受益対象者の範囲及び人数 上記2郡15村の村人、計1,412世帯、9,276人を直接的な対象とする

(6) 支出額 100,000円（当会からの協力金として）13,540円（事業実施諸費） 計 113,540円

2 ベトナム奨学金事業



(1) 事業の概要

本事業は、ホーチミン市の経済的に困窮する大学生に対して、入学から卒業までの4年間、奨学金を支給し、学業の継続を支援するものである。2020年度の支給人数は51人で、内訳は別表のとおり。

1人あたりの奨学金支給額は、2015年度まで年額1万円であったが、ベトナムにおける学費や物価の上昇などを考慮した結果、2016年度から年額2万円に引き上げた。また、2018年度より、年間の事業経費を2,000円から10,000円に値上げした。その結果、奨学金サポーター募集の際の金額は、88,000円から120,000円に変更となった。

尚、2015年度からサポーター制度を導入し、サポーターである市民・企業・団体とベトナム人奨学生が直接つながる形になっている。

(2) 実施日／期間：通年

(3) 実施場所：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者およびスタッフの数

NVC担当者（2人）：大澤容佳・山田裕史、現地スタッフ（1人）：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 51人（別表のとおり）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年に続き2021年もホーチミン市で予定していた奨学金授与式を開催できなかったため、奨学金は送金し、授

与式はオンラインで実施した。

(6) 支出額 1,190,090 円 (事業実施諸経費を含む)

【別表】 2020 年度の支援人数 (実績)

	4 年生	3 年生	2 年生	1 年生	合計
サポーターより抛出	13	12	14	12	51

3 ベトナム障がい児支援事業

(1) 事業の概要

本事業はマダグイ子どもセンターで生活する青年や障がいを持つ子どもを支援し、施設の自立を助け、ベトナム社会への発展に寄与することを目的としている。本事業は、新潟県国際交流協会様より国際交流ふれあい基金助成金(85 万円)を受け、教育支援及び職業訓練支援を行った。

<教育支援> 施設で生活する幼少の子どもたちが成長し、就学児童が増えたため、教育に関わる費用を支援することにより、安定した教育環境の提供及び施設の健全な生活保持を行った。2018 年度からの継続事業として 3 年間にわたり実施した。安定した教育環境を提供することができ、事業実施中に初の大学生が誕生するなど成果があった。

<職業訓練> 2020 年 2 月に発生した火災事故により線香の粉を攪拌する機械が焼失してしまった。この機械がないと線香製作の職業訓練に大きな影響があり、見込んでいた収入も得られないことから、NVC ではこの攪拌機の購入支援を行った。

2018 年度からの継続事業として、線香製作、ビーズ(数珠)製作を通して職業訓練を実施し、子どもたちの社会性や向上心を養い、彼らの持つ能力を引き出すことが目的として事業を行った。

(2) 実施日または期間

マダグイ子供センター：通年

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子供センター

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

マダグイ子供センター：約 68 名 (約 12 名が障がい児)

(6) 支出額 1,135,492 円 (事業管理費含む)



4 ベトナム小学校支援事業

(1) 事業の概要

本プロジェクトはベトナムの貧しい地域で学ぶ子どもたちの教育環境を整え、ベトナムの未来を担う子どもたちを支援することを目的としている。2014 年にトキっ子くらぶ様と日本郵政グループ労働組合様からの資金による合同プロジェクトで、ベンチエ省ビンカンドン村小学校に新設の 2 教室を建設した。

2020 年度の活動として、継続してビンカンドン村小学校への PC 教室への支援を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から渡航がかなわず、実施すること



ができなかった。

- (2) 実施日または期間 未実施
- (3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ビンカンドン村小学校
- (4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 現在の生徒数 225 名
- (6) 支出額 43,500 円 (事業管理費含む)

5 シェルター女児支援事業



(1) 事業の概要

経済発展を続けるベトナムにおいて、開発から取り残された環境にあるキムチシェルターで生活する子どもたちが職業訓練をしながら生産する商品を購入し、新潟で販売することで、女児たちの自立を応援し、女児達と新潟にいる私たちがつながり、共に発展していくことを目指す事業。ミシン技術習得希望の女児達が増えたことを受け、ミシン、縫製指導者の雇用費用などを支援し、女児たちの縫製技術スキルアップのための支援を行った。

2020 年度は、チュニックドレス、スカート製作の他、日本で非常に需要が高いマスクの生産を実施。高品質で人気のある商品となった。

また、シェルターから新型コロナウイルスの影響を受けて寄付が減少し、学校教育プログラムにおける先生の雇用がままなくなると、子どもたちへの食費が不足しがちになっているとの連絡を受け、公益財団法人かめのり財団様より助成金を受け、緊急支援を実施した。

- (2) 実施日／期間：通年 緊急支援：12 月～3 月の 4 カ月

(3) 実施場所

- ①ベトナム社会主義共和国ロンアン省キムチシェルター：

縫製教室：スカートやアオザイ風チュニック、マスクの作成

緊急支援：教員の給与助成、栄養補給用の食事の提供

- ②販売はインターネット通信販売サイトミンネより

- (4) 担当者およびスタッフの数 三上杏里、小林伸子
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 縫製教室：シェルター利用女児 100 名の内 25 名前後
緊急支援：教員 40 人、シェルター利用児 200 人
- (6) 支出決算額 1,436,886 円 (事業管理費含む)

6 ベトナムスタディーツアー事業



(1) 事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状や NVC プロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVC の活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事で NVC 活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。

2020 年は、新型コロナウイルスの影響を受けて、8 月開催を見送り収束がみられてから開催するというスケジュールで実施する予定であったが、収束がみられなかったので、中止となった。

(2) 支出額 43,500 円 (事業管理費含む)

7 チャリティバザー事業(愛のかけ橋バザー&フェスタ)



(1) 事業の概要

NVC 愛のかけ橋バザー&フェスタは、各事業の資金を調達するだけでなく、新潟を基盤とした NVC の国際協力について、広く市民に知ってもらう機会となっている。チャリティーバザーによる物品販売の他、ベトナムの子どもたちが作ったビーズを使用した「HappyLink」のアクセサリも販売した。換気・消毒等の感染症対策をしっかりと行った上で開催し、例年通り多くの方に来場いただいた。

(2) 実施日または期間 2020 年 11 月 8 日 (日)

(3) 実施場所 ピア Bandai ピアテラス ※今回から屋内会場に変更

(4) 担当者及びスタッフの数

担当者：港美結、三上杏里、鏡千夏 当日ボランティア(実数)：25 人

(5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数：延べ 450 人程度

(6) 支出額 73,691 円(事業管理費含む)

※バザー事業収入：227,440 円 ※バザー売上(カレンダー含む)・寄付・募金

8 広報・啓発講座・人材育成事業



(1) 事業の概要

新潟県在住の人々に、地球規模の課題を発信し、啓発を行うことにより、新潟と世界とが繋がり、共生できる社会作りを目指すことを目的とした事業。より若者の人材育成に力をいれるべく、2020 年度も新潟の若者にアルバイトスタッフやインターンスタッフとしてより責任感を持って業務に従事してもらうプログラムを採用し、NGO の実務体験を通じて様々なスキルを身に付けてもらった。会計担当、啓発・SDGs 担当、ソーシャルビジネス担当と 3 つの担当役割を設け、具体的に何をしたら良いかについて常に意識し、行動してもらう環境を整えた。

(2) 実施日 通年

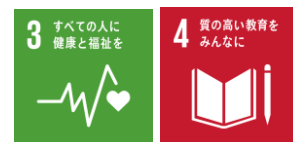
(3) 実施場所 NVC 事務所、オンライン他

(4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、鏡 千夏、相馬優花、松山千紘、岩橋琢磨、
ゴーカイインリン

(5) 受益対象者の範囲及びその人数 講座参加者：8 人、イベント担当者：5 人、

(6) 支出額 815,452 円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業



(1) 事業の概要

新潟県内の大学や専門学校に在学し、新潟市に在住している「留学」の資格を持つ、一定以上の収入の無い私費留学生に対し、一人につき年間 5 千円ずつ国民健康保険料の助成を行う事業。1 年以上滞在する学生は公的健康保険に加入しなくてはならず、多くの場合が国民健康保険に加入することになるが、経済的な負担になっていることもある。そのため、経費の一部を助成することで安心して医療を受けてもらおうという趣旨。

1995 年（平成 7 年度）から（公財）新潟市国際交流協会様との協働事業として実施。受給した留学生より喜ばれている反面、協働事業としての NVC については知られていない。財源は、（公財）新潟市国際交流協会が 20 年前に設立した基金から捻出しており、NVC は協働団体として資金を提供している状況であるが、この基金はあと 2～3 年で使いきる予定となっている。

- （2）実施期間 通年（保険料の助成金支払いは 2 月）
- （3）実施場所 新潟市（新潟市国際交流協会との協議は 2 月 25 日に開催）
- （4）担当者及びスタッフの数 三上杏里、細谷唯一
- （5）受益対象者の範囲及び人数 2020 年 3 月見込み 200 件 100 万円
（市協会への本事業に対する寄付金の件数及び金額 30 万円 2021 年 2 月現在）
- （6）支出額 115,540 円

10 30 周年記念事業

（1）事業の概要

NVC が 30 周年を迎えることを記念して、今後、未来に向けて更なるステップアップをするために 1 年かけて関連事業を実施した。コンセプトは未来志向。「これからの NVC、未来を見る NVC」というテーマを掲げて展開した。

新型コロナウイルスの影響を受け、人が大勢集まる大きなイベントを開催する、というのではなく、オンラインや SNS を利用し、できることを模索しより多くの人たちに伝えることに尽力した。

- （2）実施日／期間 通年
- （3）実施場所 SNS やインターネットツールにて実施
- （4）担当者 三上杏里、小林伸子、港美結、相馬優花、鏡千夏、松山千紘
- （5）受益者の範囲 5,000 人（SNS やインターネットツールなどで参加してくれた人延べ数）
- （6）支出額は広報・啓発・人材育成事業として算出

11 その他の運営に関する事項

- （1）機関紙発行「かけ橋」55 号（2020 年 9 月 17 日）56 号（2021 年 2 月 15 日）
- （2）運営委員会 毎月第 3 土曜日に NVC 事務所、オンライン会議システム Zoom を利用して計 12 回開催
- （3）外部イベントへの出展
 - ①（公財）新潟市国際交流協会団体発表展示会 2020 年 10 月 24 日 クロスパル新潟
 - ②新潟県社会福祉協議会主催シニアカレッジ 2020 年 11 月 2 日 ユニゾンプラザ
- （4）出張講演、報告、ワークショップ等
 - ①日本文理高等学校「総合的な探究の時間」生徒インタビュー受け入れ
2020 年 8 月 5 日 Zoom によるオンライン（担当三上）
 - ②にいがた市民大学特別講座全体コーディネート
2020 年 9 月 18 日、10 月 9 日、10 月 16 日の 3 回開催（担当三上）
 - ③新潟お笑い集団 NAMARA にて SDGs 基礎講座の実施
2020 年 11 月 17 日 よろっ to ローサ（担当三上）

④新潟お笑い集団NAMARAにて SDGs 基礎講座～ワークショップ編～の実施

2020 年 12 月 21 日 よろっ to ローサ（担当三上）

⑤新潟県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会にて出張講演

2021 年 2 月 26 日 クロスパル新潟（担当三上、相馬、リン、岩橋）

⑥NVC 主催 NVC オリジナルワークショップオンライン開催

2021 年 3 月 20 日 Zoom によるオンライン（担当相馬、岩橋）

（5）コンサルティングの実施

一般社団法人「おらって」にいがた市民エネルギー協議会にて、NVC の経験を活かして人材育成事業のお手伝いを行った。

（6）資金調達

NVC 設立 30 周年記念募金寄付募集キャンペーンを開催（2020 年 9 月 1 日～11 月 8 日）し、合計で 89,000 円の寄付を獲得することができた。

（8）組織力強化、決済ツールの多様化、外部研修への参加

独立行政法人国際協力機構（JICA）主催の NGO 等提案型プログラム「NGO オンリーワン戦略講座」ーNGO の経営（組織経営）とブランディングによる組織力強化研修ーに参加。約 1 年かけて組織と事業の再確認をし、組織と事業の図式化や NVC が実施している各事業のコアコンピタンス（中核となる強み）などを明確化し、2021 年度以降の組織運営や事業実施に活かしていける方向性を見出すことができた。

また、決済ツールを増やし、郵便振替だけでなくゆうちょ銀行、ろうきん、そしてクレジット決済ができるように寄付や支援金の入金のしやすい環境を整えた。

日々多様化する NVC のステークホルダーを把握しやすくするべく、事務局にて会員及び支援者管理ソフトを導入し、NVC を応援してくれる人はどのように関わってくれているのかを閲覧しやすくした。

（7）2020 年度 役員体制

（五十音順）

運営委員	上田 和孝、緒方 りな、加藤はとこ、金子洋二、北村 泰、櫛谷圭司、後藤ルミ、小林伸子、佐々木寛、佐藤 舞、高橋正樹、港美結、馬場拓也、細谷唯一、大澤容佳、三上杏里、山田 裕史、若月 章
監 事	阿部美恵子、藤井由美子
アドバイザー	西村智奈美、前野春樹、山田太郎

（8）マスコミ掲載

2020 年 9 月 27 日 新潟日報 27 頁 NVC オリジナル LINE スタンプの紹介

（9）その他

カレンダーの販売部数・・・JVC カレンダー：1,600 円×40 部

募金箱設置協力・・・俺のどんこつラーメン伝丸、阿部美恵子氏自宅、

加入している団体・・・日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟 NPO 協会、にいがた NGO ネットワーク、新潟ベトナム協会

助成金その他

（公財）新潟県国際交流協会様より「新潟・国際協力ふれあい基金」（ベトナム障がい児支援事業）として 85 万円、公益財団法人かめのり財団様より緊急支援プロジェクト助成（シェルター緊急支援）として 100 万円、金子娃子様よりベトナム奨学金支援として 120 万円、孤児支援として 80 万円のご支援を受けた。

収入

項 目	2020決算額	2020予算額	2019決算額	備考
会費	665,890	900,000	710,000	
会費(正会員)	558,000	800,000	602,000	
会費(賛助)	107,890	100,000	108,000	
バザー売り上げ	141,707	300,000	151,365	
事業(その他の活動)	151,772	1,780,000	699,620	
NVCオリジナルグッズ売上	49,784	1,000,000	157,000	
イベント売り上げ	0	100,000	54,000	
カレンダー売り上げ	59,200	130,000	94,800	
セミナーなど講師謝礼	42,788	200,000	76,620	
スタディツアー事業収益	0	350,000	317,200	
寄付金	984,920	500,000	449,885	
奨学金指定寄付	1,680,000	1,400,000	1,332,000	
募金	39,274	300,000	72,859	
助成金	1,850,000	1,000,000	1,100,000	
雑収入、委託事業収入	88,710	0	45,460	
利息諸収入	25	50	21	
計	5,602,298	6,180,050	4,561,210	

支出(事業費)

項 目	2020決算額	2020予算額	2019決算額	備考
期末棚卸高	28,500			在庫
自主事業(海外)	3,849,468	3,170,000	2,047,776	
奨学金支援事業	1,190,090	1,241,000	180,615	
ベトナム障がい児支援事業	1,135,492	1,140,000	1,171,380	
シェルター・女儿支援事業	1,436,886	356,000	257,286	
スタディツアー事業	43,500	293,000	359,895	
小学校建設事業	43,500	140,000	78,600	
自主事業(国内)	889,143	1,358,800	968,127	
バザー	73,691	89,300	97,754	
広報・啓発・人材育成・30周年	815,452	1,069,500	734,461	カレンダー含む
他との協働事業	229,080	229,000	227,480	
ラオス(JVC)	113,540	112,500	112,740	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	115,540	116,500	114,740	新潟市国際交流協会へ
計	4,939,191	4,757,800	3,243,383	

支出(事務局費)

項 目	2020決算額	2020予算額	2019決算額	備考
人件費	280,000	300,000	499,000	
講師謝礼	0	148,000	148,000	
印刷費	45,460	90,000	194,300	
広告宣伝費	0	0	15,000	
通信費	105,486	15,000	14,763	
会場費	0	0	0	
委託費	0	5,000	9,372	
消耗品費	11,911	5,000	12,849	
支払い保険料	14,314	4,000	3,374	
交際費	0	40,000	40,000	
旅費交通費	29,400	0	0	
送金手数料	3,190	90,000	104,079	
家賃	148,000	50,000	0	
光熱水費	35,620	30,000	33,535	
その他雑費	11,950	80,000	0	
事務用品費	30,766	50,000	67,133	
他団体登録料	46,000	0	0	
法人税・住民税及び事業税	69,800	10,000	24,074	
減価償却費	6,367			
寄付金	50,000	200,000	0	洪水支援
計	888,264	1,117,000	1,165,479	

支出(計)

項 目	2020決算額	2020予算額	2019決算額	備考
事業費	4,939,191	4,757,800	3,243,383	
事務局費	888,264	1,117,000	1,165,479	
計	5,827,455	5,874,800	4,408,862	

2020年度

一般会計活動計算書

(費用科目別フォーム)

期間	令和2年4月1日	～	令和3年3月31日	迄
項目	金額			
	特定非営利に関わる活動	その他の活動	合計	
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取年会費	510,000			
賛助会員受取会費	107,890			
受取入会金	0			
受取会費計	617,890	0		
2 受取寄付金				
一般寄付	984,920			
奨学金事業指定寄付	1,680,000			
募金	39,274			
受取寄付金計	2,704,194	0		
3 受取助成金等				
受取補助金	0			
受取民間助成金	1,850,000			
受取助成金等計	1,850,000	0		
4 事業収益				
売上高	0			
役務収益	0			
仲介手数料収入	0			
知る講座参加費		0		
バザー&フェスタ	141,707			
NVCオリジナルグッズ売り上げ		49,784		
イベント売り上げ		0		
カレンダー売り上げ		59,200		
スタディツアー事業収益		0		
セミナー等講師謝金		42,788		
事業収益計	141,707	151,772		
5 その他収益				
受取利息	25			
委託事業収入	0			
雑収入	88,710			
受取報奨金	0			
その他収益計	88,735	0		
経常収益合計(A)			88,735	
II 経常費用				
1 売上原価				
期首棚卸高		0		
仕入高		128,463		
小計		128,463		
期末棚卸高		28,500		
当期売上原価	0	99,963		
2 事業費				
(1) 人件費				
人件費	680,497			
人件費計	680,497	0		
(2) その他経費				
仕入もしくは事業実施費	3,450,000			
講師謝礼	0			
会場費	11,000			
委託費	5,000			
支払い保険料	840			
消耗品費	6,746			
旅費交通費	201,520			
交際費	6,000			
家賃	296,000			
通信費	89,450			
光熱水費	38,500			
印刷費	5,330			
広告宣伝料	0			
送金手数料	27,185			
その他雑費	21,160			
その他経費計	4,158,731	0		
事業費計			4,158,731	
3 管理費				
(1) 人件費				
人件費	280,000			
人件費計	280,000	0		
(2) その他経費				
家賃	148,000			
旅費交通費	29,400			
減価償却費	3,979			
交際費	0			
会議費	0			
支払い保険料	14,314			
講師謝礼	0			
消耗品費	11,911			
事務用品費	30,766			
送金手数料	3,190			
他団体登録料	46,000			
教育費	0			
通信費	105,486			
寄付金	50,000			
光熱水費	35,620			
広告宣伝料	0			
印刷費	45,460			
会場費	0			
法人税、住民税及び事業税	69,800			
その他雑費	11,950			
その他経費計	605,876	0		
管理費計			605,876	
経常費用合計(B)			885,876	
当期経常増減額(C)=(A)-(B)				-270,769
III 経常外収益				
雑益	0			
前期損益修正益	0			
経常外収益計(D)	0	0		
III 経常外費用				
雑損失	0			
経常外費用計(E)	0	0		
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)				0
当期正味財産増減額(G)=(C)+(F)				-270,769
前期繰越正味財産(H)				6,066,068
次期繰越正味財産(I)=(G)+(H)				5,795,299

2020年度 奨学金基金 受払台帳

2021年3月31日

項 目	2019年度決算額 (基金残高)	2020年予算額		2020年度受払		調整金額		2020年度決算額 (基金残高)
				受	払	受	払	
NVC補填	992,584							992,584
新サポーター(2016年度)	300,000	2016年度サポーター	300,000		300,000			0
新サポーター(2017年度)	220,000	2017年度サポーター	240,000	0	240,000			(20,000)
新サポーター(2018年度)	340,000	2018年度サポーター	260,000	20,000	240,000	20,000		140,000
新サポーター(2019年度)	660,000	2019年度サポーター	280,000	0	280,000			380,000
新サポーター(2020年度)	0	2020年度サポーター	0	1,440,000	0			1,440,000
稲宮奨学金基金	60,000		0	0				60,000
利息諸収入(利息)	377		0	8				385
計	1,280,377		1,080,000	1,460,008	760,000			2,992,969

※新型コロナウイルスの影響を受けて、2019年度分の奨学金を2020年度に支払った。2020年度分の奨学金は2021年度に支払い予定

令和2年度 会計貸借対照表
NPO法人新潟国際ボランティアセンター

令和3年3月31日 現在

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
101 現金	10,000		
103 新潟県信用組合	282,281		
104 ゆうちょ銀行	1,657,583		
105 振替口座	456,218		
106 第四銀行	1,932,977		
107 新潟県労働金庫	2,170,352		
121 商品	28,500		
116 未収入金	0		
流動資産合計		6,537,911	
2 固定資産			
201 建物	0		
206 工具器具備品	2,388		
255 敷金	37,000		
固定資産合計		39,388	
資産合計			6,577,299
II 負債の部			
1 流動負債			
303 短期借入金	0		
305 未払法人税等	0		
307 前受金	782,000		
310 仮受金	0		
流動負債合計		782,000	
2 固定負債			
351 長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			782,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,066,068	
当期正味財産増加額(減少額)		-270,769	
正味財産合計			5,795,299
負債及び正味財産合計			6,577,299

令和2年度 財産目録
NPO法人新潟国際ボランティアセンター

令和3年3月31日 現在

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
101 現金	10,000		
103 新潟県信用組合	282,281		
104 ゆうちょ銀行	1,657,583		
105 振替口座	456,218		
106 第四銀行	1,932,977		
107 新潟県労働金庫	2,170,352		
121 商品	28,500		
116 未収入金	0		
流動資産合計		6,537,911	
2 固定資産			
205 車両運搬具	0		
206 工具器具備品	2,388		
255 敷金	37,000		
固定資産合計		39,388	
資産合計			6,577,299
II 負債の部			
1 流動負債			
303 短期借入金	0		
305 未払法人税等	0		
307 前受金	782,000		
310 仮受金	0		
流動負債合計		782,000	
2 固定負債			
351 長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			782,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,066,068	
当期正味財産増加額(減少額)		-270,769	
正味財産合計			5,795,299


会計監査報告

2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の収支決算について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2021年4月17日

監査委員

阿部 美恵子 

藤井 由美子 

【阿部監事及び藤井監事からのアドバイス（要旨）】

【全体】新型コロナウイルスの影響で予定通りに事業やイベントなどが開催できないにも関わらず、出来ることを模索して組織体制を整え、事業を実施していることを評価したい。特に、コロナ禍による緊急支援の実施や決済ツールを複数設けるなどは大きく NVC を進歩させていくことにつながると思うので、今後も社会の変化に合わせて様々なことを取り入れていって欲しい。

【30 周年記念】大勢を動員する大きなイベントやシンポジウムが開催できない中、若いスタッフの発案を活かしてオンラインや SNS を多用して 30 周年記念企画を実施できたのが良かった。

【バザー】新型コロナウイルスの影響を受けて、1 日のみの開催であったがスタッフの負担も少なく非常に良かったと思う。また、会場の都合による屋内施設を利用することとなったが、天候に左右される心配も無くなるので、次年度以降も屋内施設利用で実施して欲しい。

【ベトナム現地事業】現地スタッフ及び現地カウンターパートが確実に事業を実施してくれているので、NVC 担当者がベトナムに渡航しなくても各事業が実施できたのが良かった。現地との信頼関係を引き続き構築していって欲しい。

【事務局】スタッフ体制を整え、スタッフ数が増え、役割分担が促進されたとはいえ、まだ一人一人が抱える負担が大きい。毎年少しずつ改善されているので、今後も継続して見直しをしていくべき。

第3号議案

2021年度事業計画（案）

2021年度事業実施の方・NVCのミッションの明文化・各事業の図式化

新型コロナウイルスに関わるニュースを毎日見るようになってから、1年以上が過ぎました。例年通りの活動ができなかった2020年度。年度当初は不安でいっぱいでしたが、直接会えなくても支援を停めることなく継続できたのは、皆様のご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。

2018年度から開始した中期ビジョンに関わることでは、会員や支援者の拡大、資金獲得のための準備を少しずつ進めることができました。ホームページを整え、寄付等の方法も以前より充実しました。特にクレジットカード決済は好評で、多くの方に利用いただいたおります。長引くコロナ渦の中、オンライン講座やウェブ販売も体制が整い、順調に運営できています。ウェブで販売中の、キムチシェルターの子どもたちが作製したマスクも大変好評で、素敵なデザインでマスクをつける日常からベトナムとのつながりを感じることができます。

またオンラインで実施されたJICA主催の組織力強化研修に参加したことで、組織と事業を図式化しNVCの強みを整理できました。NVCのミッションが明確な言葉になり、外部の方からみてもよりわかりやすく、運営委員会でも協議を重ねたことで私たちも同じ方向を向いて活動を続けることができます。さらに事業を図式化することで、海外・国内事業の間にもつながりがあることを再認識することができました。研修を通して、NVCをアピールする上で非常に役立つものを得られました。

2021年度もまだ海外への渡航などが難しい日々が続くことが予想されます。その中でも現地との連絡を密にとり、国内では感染症対策をしっかりと行った活動、またウェブ等の活用を通して、今年度も支援の手をとめることなく充実した1年としていきたいと思っております。どうぞ、ご協力よろしくお願いいたします。

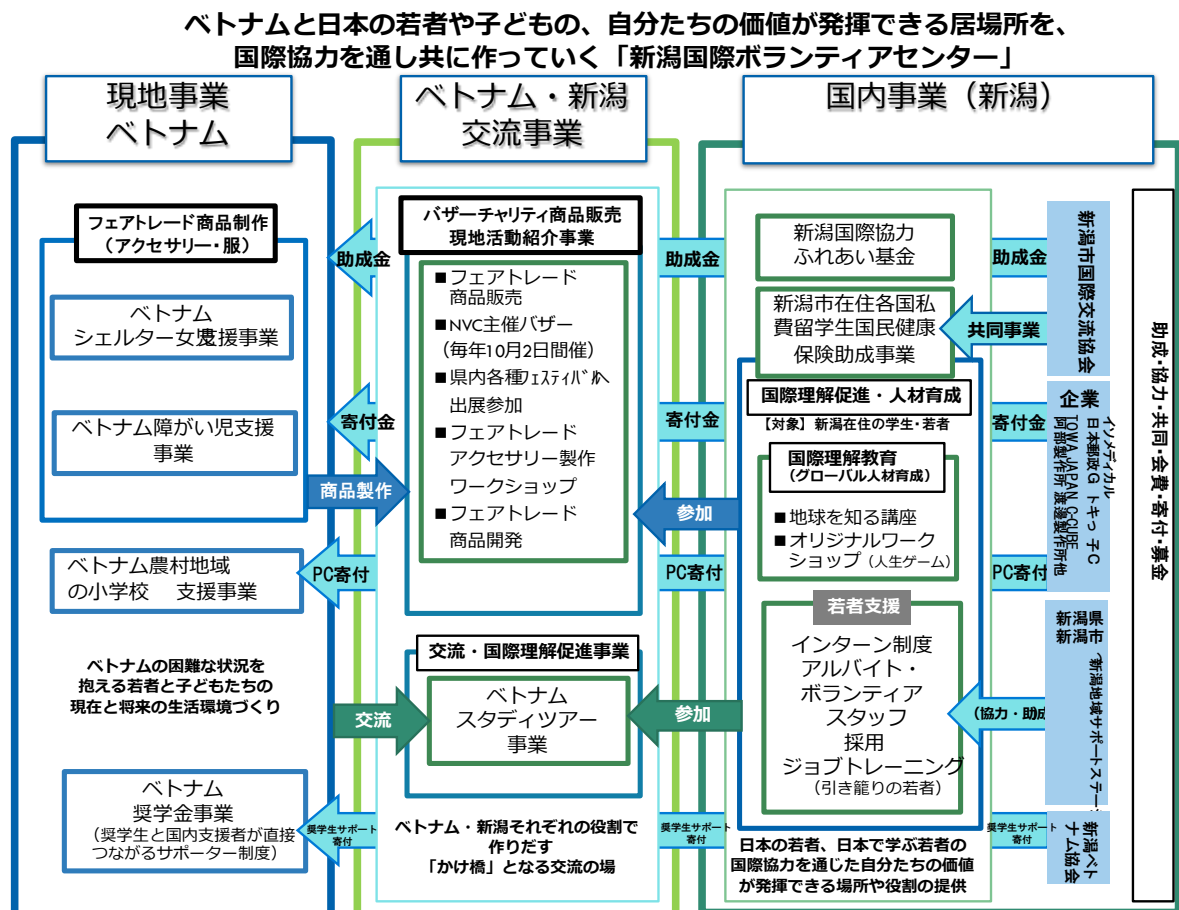
事務局長 港 美結

NVC を分かりやすい言葉と図式にしたのが以下のミッションとマトリクスです。先が見えない時代ですが、皆さんが応援してくださっているNVCはこんな団体なんだ！と多くの方に伝えていただく際にぜひこのミッションとマトリクスをお使いくださいませ。

団体のミッション（目的・役割）

ベトナムの貧しい子供たちに教育・奨学金・技術支援、心のサポートを行うことにより、子供たち自身で未来を切り拓く力をつけてもらう。
そしてその活動は一方的に支援を行うものではないので、信頼できる関係性、自己成長さらにその先の新潟の発展を得ることを私たちは目指す。

団体の事業のつながり・関係を表すマトリクス 「キーワード：居場所」



【各事業の実施計画】

1 ラオス支援事業

(1) 事業の概要

ラオス農村部の人々が主体となった、環境と調和した地域開発がなされることを通してより公正で持続的なラオス社会が実現することを目標として、対象地域の住民が、土地を含む地域の自然資源を、主体性をもって管理・利用できるようになっていくことを目指す事業。2021年度は、昨年度の活動を踏襲しつつ、各県の行政機関および関係団体へのヒアリングと現地視察を通じて情報収集を行い、今後の活動地およびカウンターパートを選定する計画とする。

※事業実施主体の日本国際ボランティアセンター（JVC）の事業にNVCが一部資金を提供している。

- (2) 実施期間 通年
- (3) 実施場所 ラオス人民民主共和国サワナケート県アサパントン郡、ピン郡
- (4) 担当者 JVC ラオス事務所 平野駐在員／東京事務所 木村氏
- (5) 受益者の範囲 上記2郡15村の村人、計1,412世帯、9,276人を直接的な対象とする
- (6) 予算 113,000円

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要

本事業は、ホーチミン市の経済的に困窮する大学生に対して、入学から卒業までの4年間、奨学金を支給し、学業の継続を支援するものである。1人あたりの奨学金支給額は年額2万円で、2021年度の支給予定人数は別表のとおり。昨年度に引き続き、年間の事業経費は10,000円、奨学金サポーター募集金額は120,000円とする。

また、2015年度からサポーター制度を導入し、サポーターである市民・企業・団体とベトナム人奨学生が直接つながる形になっている。

- (2) 実施期間 通年
- (3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
- (4) 担当者およびスタッフの数

NVC 担当者（2人） 大澤容佳・山田裕史、現地スタッフ（1人）：Thu Linh

- (5) 受益対象者の範囲および人数：ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 50人
- (6) 支出予算額 1,203,000円（事業管理費含む）

【別表】2021年度の支援人数（予定）

	4年生	3年生	2年生	1年生	合計
サポーターより拠出	12	14	12	12	50

3 ベトナム孤児・障がい児支援事業（旧名称ベトナム障がい児支援事業）

(1) 事業の概要

マダグイ子どもセンターへの支援として、新潟県国際交流協会様より国際交流ふれあい基金助成金75万円の助成が決定した。

マダグイ子どもセンターの需要に応じて2021年度も引き続き教育支援をメインに事業を行っていく。今後は子どもたちの学習教室を開催し、子どもたちの向上心を育て学力を伸ばしていく方針である。

今後も子どもたちへの教育にかかる費用が大きく支援を望む可能性が高いが、新潟県国際交流協会様の助成は今年度で最後との条件が出た。同協会様からの次年度の教育支援への助成は見込めないことから、今年度を通して施設と相談し今後の方針を決めていく必要がある。今年度も渡航が難しい状況ではあるが、施設との定期的なコミュニケーションを取り事業を行っていききたい。

また今年度から、プロジェクト名を「ベトナム障がい児支援事業」から「ベトナム孤児・障がい児支援事業」に変更する。

- (2) 実施期間 通年
- (3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子どもセンター
- (4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh
- (5) 受益対象者の範囲及び人数
マダグイ子どもセンターで生活する子ども・青年
- (6) 予算額 838,000 円（事業管理費含む）

4 ベトナム小学校支援事業

- (1) 事業の概要
ベンチェ省ビンカンドン村小学校の PC 教室への支援を継続して行っていききたい。奨学金サポーターのイソメディカル様から寄付いただいた PC を預かっている。今年度もおそらく渡航が難しいと思われることから、オンラインでの交流等を計画していききたい。渡航が可能になった際には、引き続きビンカンドン村小学校及び村の方々との交流を継続し、今後も児童の安全な教育環境を保持するための支援を行っていききたい。
- (2) 実施日または期間 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日
- (3) 実施場所
ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ビンカンドン村小学校
- (4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 現在の生徒数 225 名
- (6) 予算額 163,000 円（事業管理費含む）

5 シェルター子ども支援事業（旧名称シェルター女児支援事業）

- (1) 事業の概要
昨年度までの経験を活かし、キムチシェルターにおいて、日本で販売していくことを目指して製品開発及び生産を行っていく。作品作りに力を注ぎ、より新潟及び日本で販売できるモノ作りを始動し、販売に力を注ぎ、新潟県内の様々なイベント会場やインターネットでの販売を開始していくこととする。一昨年度より、縫製教室に男児が増えたことから、本事業の名称もシェルター子ども支援事業と変更する。
また、栄養補給用の食事提供の支援も今年は通年で実施することとする。
シェルター側は、コロナ禍により減少した寄付の補填をすべく、様々な資金調達方法を模索している。NVC として、どのような協力ができるのかについては、現地と連絡を取り、様子をみながら判断していく。

- (2) 実施日／期間 通年
- (3) 実施場所
縫製教室：ロンアン省キムチシェルター：スカートやアオザイ風チュニック、マスクの作成、販売はバザー会場、インターネットでの通信販売
食糧支援：ロンアン省キムチシェルターにて月1回の栄養補給食事の提供
- (4) 担当者およびスタッフ 三上杏里、小林伸子
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 縫製教室：シェルター利用児100名の内25名前後
- (6) 支出予算額 700,000 円(事業管理費含む)

6 スタディーツアー事業

- (1) 事業名 ベトナムスタディーツアー事業
- (2) 事業の概要
ツアーを通してベトナムの現状や NVC プロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVC の活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事で NVC 活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。
2021 年度も、新型コロナウイルスの影響を受けて、8 月開催を見送り収束がみられてから開催するというスケジュールで実施する予定。
- (3) 実施日 未定
- (4) 実施場所 ベトナム社会主義国ホーチミン市、ラムドン省マダグイ、ロンアン省、ベンチェ省
- (5) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、小林伸子
- (6) 受益対象者の範囲及びその人数 一般応募 12 名
- (7) 支出額 43,000 円

7 チャリティバザー事業

- (1) 事業の概要
資金調達、NVC 広報のため NVC 愛のかけ橋バザー&フェスタを年に一度開催する。チャリティバザーによる物品販売に加え、天然石アクセサリやシェルターの子どもたちが製作した洋服等の販売に力を入れ、NVC の事業をアピールする機会とする。今年度も感染対策をしっかりと行いながら、バザーを開催したいと考えている。
※新型コロナウイルスの流行状況により、イベント開催の可否等慎重に判断する。
- (2) 実施日／期間 2021 年秋頃 予定
- (3) 実施場所 ピア Bandai ピアテラス 予定
- (4) 担当者およびスタッフの数
担当者：港美結、三上杏里、鏡千夏 他、ボランティアスタッフを募集する
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数：延べ 1,000 人
- (6) 支出予算額 82,000 円

8 開発教育・人材育成・若者支援事業（旧名称 広報・啓発講座・人材育成事業）

(1) 事業の概要

今までの実績を活かして確立した NVC のグローバル人材育成プログラムメソッドをより大きく展開していく。2021 年度からは、新型コロナウイルスの影響を受けて孤立しがちな若者もサポートすべく、新潟地域若者サポートステーションと連携して、若い人たちの力を発揮してもらえるような事業体制を整えていく。通常業務としては、奨学金事業アシスタント、会計、ソーシャルビジネス、開発教育・SDGs 普及の 4 人のスタッフを採用し、NGO の実務経験を積んでもらい、自身の成長につなげてもらう。

また、より事業内容に即した事業名にすべく、事業名称を「開発教育・人材育成・若者支援事業」と変更する。

(2) 実施日 通年

(3) 実施場所 NVC 事務所、各イベント・講座会場（オンライン含む）、他

(4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、鏡 千夏、岩橋琢磨、ゴーカインリン、藤川友里

(5) 受益対象者の範囲及びその人数 100 名（オンライン講座参加者）

(6) 支出額 1,056,000 円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

(1) 事業の概要

運営の基本である留学生へ助成できる財源が取り崩す状況の中で主体である新潟市国際交流協会様とのこの事業への進め方が課題となる。助成金支出をしている NVC としては状況を見守りながらこれまで運営委員会にて協議した通り、この制度の在り方を含めて判断をしていくことになる。

(2) 実施期間 通年（保険料の助成金支払いは協会との協議後実施）

(3) 実施場所 新潟市

(4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、細谷唯一

(5) 受益対象者の範囲及び人数 助成見込み件数 200 件

(6) 予算額 115,000 円

11 その他運営に関する事項

(1) 「かけ橋」発行

(2) 運営委員会の開催 原則として毎月第 3 土曜日午前 10 時 30 分より実施する。

(3) 外部イベントへの出展

新型コロナウイルスの影響を考慮し、参加可能なイベントに出席する。

(4) 現地調査 支援先の現況把握としてベトナムでの現地調査を実施する。

(5) 資金調達

より多くの人々が気軽に寄付できるように寄付募集キャンペーンや会員を増やすべく新規会員募集キャンペーンなどを行う。

(6) その他

加入予定団体 日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟 NPO 協会、にいがた NGO ネットワーク、新潟ベトナム協会

2021年度 一般会計活動予算書

(事業別フォーム)

収入

項 目	2021予算額	2020決算額	2020予算額	備考
会費	610,000	665,890	900,000	
会費(正会員)	500,000	558,000	800,000	
会費(賛助)	110,000	107,890	100,000	
バザー売り上げ	150,000	141,707	300,000	
事業(その他の活動)	460,000	151,772	1,780,000	
NVCオリジナルグッズ売上	200,000	49,784	1,000,000	
イベント売り上げ	0	0	100,000	
カレンダー売り上げ	60,000	59,200	130,000	
セミナーなど講師謝礼	100,000	42,788	200,000	
スタディツアー事業収益	100,000	0	350,000	
寄付金	1,000,000	984,920	500,000	
奨学金指定寄付	2,200,000	1,680,000	1,400,000	
募金	100,000	39,274	300,000	
助成金	1,500,000	1,850,000	1,000,000	75万は確定
雑収入、委託事業収入	50,000	88,710	0	
利息諸収入	50	25	50	
計	6,070,050	5,602,298	6,180,050	

支出(事業費)

項 目	2021予算額	2020決算額	2020予算額	備考
期首棚卸高	28,500			
期末棚卸高	20,000	28,500		在庫
自主事業(海外)	2,947,000	3,849,468	3,170,000	
奨学金支援事業	1,203,000	1,190,090	1,241,000	
ベトナム孤児・障がい児支援事業	838,000	1,135,492	1,140,000	
シェルター子ども支援事業	700,000	1,436,886	356,000	
小学校建設事業	163,000	43,500	293,000	
スタディツアー事業	43,000	43,500	140,000	
自主事業(国内)	1,138,000	889,143	1,358,800	
バザー	82,000	73,691	89,300	
開発教育・人材育成・若者支援事業	1,056,000	815,452	1,069,500	カレンダー含む
他との協働事業	228,000	229,080	229,000	
ラオス(JVC)	113,000	113,540	112,500	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	115,000	115,540	116,500	新潟市国際交流協会へ
計	4,321,500	4,939,191	4,757,800	

支出(事務局費)

項 目	2021予算額	2020決算額	2020予算額	備考
人件費	400,000	280,000	300,000	
講師謝礼	0	0	148,000	
印刷費	50,000	45,460	90,000	
広告宣伝費	0	0	0	
通信費	100,000	105,486	15,000	
会場費	0	0	0	
委託費	0	0	5,000	
消耗品費	12,000	11,911	5,000	
支払い保険料	14,000	14,314	4,000	
交際費	0	0	40,000	
旅費交通費	30,000	29,400	0	
送金手数料	3,000	3,190	90,000	
家賃	148,000	148,000	50,000	
光熱水費	40,000	35,620	30,000	
その他雑費	20,000	11,950	80,000	
事務用品費	100,000	30,766	50,000	
他団体登録料	46,000	46,000	0	
法人税・住民税及び事業税	70,000	69,800	10,000	
減価償却費	6,000	6,367		
寄付金	50,000	50,000	200,000	洪水支援
計	1,089,000	888,264	1,117,000	

支出(計)

項 目	2021予算額	2020決算額	2020予算額	備考
事業費	4,321,500	4,939,191	4,757,800	
事務局費	1,089,000	888,264	1,117,000	
計	5,410,500	5,827,455	5,874,800	

2021年度 一般会計活動予算書

(費用科目別フォーム)

活動計算書				
期間	令和3年4月1日	～	令和4年3月31日	迄
項目	金額			
	特定非営利に関わる活動	その他の活動	合計	
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取年会費	500,000			
賛助会員受取会費	110,000			
受取入会金	0			
受取会費計	610,000	0		610,000
2 受取寄付金				
一般寄付	1,000,000			
奨学金事業指定寄付	2,200,000			
募金	100,000			
受取寄付金計	3,300,000	0		3,300,000
3 受取助成金等				
受取補助金				
受取民間助成金	1,500,000			
受取助成金等計	1,500,000	0		1,500,000
4 事業収益				
バザー&フェスタ	150,000			
NVCオリジナルグッズ売り上げ		200,000		
イベント売り上げ		0		
カレンダー売り上げ		60,000		
スタディツアー事業収益		100,000		
セミナー等講師謝金		100,000		
事業収益計	150,000	460,000		610,000
5 その他収益				
受取利息	50			
委託事業収入				
雑収入	50,000			
受取報奨金				
その他収益計	50,050	0		50,050
経常収益合計(A)				6,070,050
II 経常費用				
1 売上原価				
期首棚卸高		28,500		
仕入高		180,000		
小計		208,500		
期末棚卸高		20,000		
当期売上原価	0	188,500		188,500
2 事業費				
(1) 人件費				
人件費	881,000			
人件費計	881,000	0		881,000
(2) その他経費				
仕入もしくは事業実施費	2,464,000			
講師謝礼				
会場費	20,000			
委託費	5,000			
支払い保険料	1,000			
消耗品費	7,000			
旅費交通費	310,000			
交際費	6,000			
家賃	296,000			
通信費	82,000			
光熱水費	35,000			
印刷費	6,000			
広告宣伝料	0			
送金手数料	15,000			
その他雑費	5,000			
その他経費計	3,252,000	0		3,252,000
事業費計				4,321,500
3 管理費				
(1) 人件費				
人件費	400,000			
人件費計	400,000	0		400,000
(2) その他経費				
家賃	148,000			
旅費交通費	30,000			
減価償却費	6,000			
交際費	0			
会議費				
支払い保険料	14,000			
講師謝礼				
消耗品費	12,000			
事務用品費	100,000			
送金手数料	3,000			
他団体登録料	46,000			
教育費				
通信費	100,000			
寄付金	50,000			
光熱水費	40,000			
広告宣伝料	0			
印刷費	50,000			
会場費	0			
法人税、住民税及び事業税	70,000			
その他雑費	20,000			
その他経費計	689,000	0		689,000
管理費計				1,089,000
経常費用合計(B)				5,410,500
当期経常増減額(C)=(A)-(B)				659,550
III 経常外収益				
雑益	0			
前期損益修正益	0			
経常外収益計(D)	0	0		0
III 経常外費用				
雑損失	0			
経常外費用計(E)	0	0		0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)				0
当期正味財産増減額(G)=(C)+(F)				659,550
前期繰越正味財産(H)				5,795,299
次期繰越正味財産(I)=(G)+(H)				6,454,849

第5号議案

役員の改選について

2020 年度に選任された役員の任期が2年間であるため、今年度は下記役員が継続して任に当たる。

(五十音順)

運営委員	上田 和孝、緒方 りな、加藤はとこ、金子洋二、北村 泰、櫛谷圭司、ブイ フォン タオ、小林伸子、佐々木寛、佐藤 舞、高橋正樹、中野 伊吹港美結、馬場拓也、細谷唯一、大澤容佳、三上杏里、山田裕史、若月 章
監 事	阿部美恵子、藤井由美子
アドバイザー	西村智奈美、前野春樹、山田太郎